

小説

『両手にトカレフ』

ブレイディみかこ 著

ドラッグ常習者の母に代わり、小学生の弟チャーリーの面倒を見ている 14 歳のミアは、ある寒い冬の朝、図書館で手にしたカネコフミコの自伝に自分と似た境遇を重ね合わせる。大人を信じては裏切られ、学校でも孤立しているミアの人生は、フミコの本によって少しずつ変化し始める。

小説

『その意図は見えなくて』

藤 つかさ 著

3 分の 1 以上が白票だった八津丘高校生徒会長選挙。陸上部の清瀬と、周囲の人間関係から巻き起こる不可解な出来事。第 42 回小説推理新人章受賞作を収録した表題を含む 5 編からなる青くてほろ苦い青春ミステリー短編集。そこには様々な感情に翻弄される高校生たちの姿がある。

小説

『無年金者ちとせの告白』

西尾 潤 著

年金も医療保険もない梨元ちとせ、73 歳。引きこもりの息子がいる古田中栄、75 歳。二人が老体に鞭打って働く「坂田 PA」は、行き場を失った車上生活者たちの溜まり場でもある。だが、「離婚した元夫の生命保険が入る」と連絡してきた男との出会いで、ちとせたちの慎ましやかな人生は一転し。

小説

『あるじなしとて』

天津 佳之 著

律令制度が行き詰まり、財政破綻の危機を迎えていた仁和 2 年、菅原道真は予期せぬ左遷を受け失意の元に任国に渡る。空海が行った治水、そして綾齊正との出会いにより、国を救うために大胆かつ細心に税制改革を進める決意をした道真の、国司としての生き様を描いた歴史傑作小説。

小説

『夜の少年』

ローラン・プティマンジャン 著

妻を癌で亡くし、懸命に二人の息子を育てる鉄道員の父親。だが、長男のフスが極右勢力の仲間と付き合い出した頃から、良好だった父子の関係に綻びが生じ始める。ある日、反対勢力の一員を殺してしまったフスが全身血まみれの状態で倒れていた。フランスで数々の文学賞を受賞した感動作。

趣味
実用

『92 歳総務課長の教え』

玉置 泰子 著

入社してすぐ辞めたい！と思った会社で勤続 66 年、92 歳でいまだ現役。ギネス世界記録に「世界最高齢の総務部員」と認定された著者が、仕事との向き合い方や、失敗を恐れずチャレンジするための心構え、自分をランクアップさせる小さな習慣など、一生使える仕事力を伝える一冊。

趣味
実用

『医者が教える非まじめ介護のすすめ』

大塚 宣夫 著

最期を非まじめにハッピーで迎えるために、「介護はこうでなければならない」という常識や思い込みをいったん捨てる。介護される側の本当の気持ちと、介護する側の心得を明確にして、互いの思いを理解した上で、気楽に肩の力を抜いて介護と向き合う、ほどよい介護の指南書。

趣味
実用

『運動未満で体はととのう』

長島 康之 著

腰・ひざ・肩の痛み、めまいや気分の落ち込み、不眠などといった病名がつかないような原因不明の不調を抱えている人たちを、「調子がいい」状態にする。実践するのは、努力しない前提でできる運動未満の意識改革。運動は苦手という人でもラクに動ける体を手に入れるヒントを紹介する。

趣味
実用

『おしゃれと暮らし』

暮らしの手帖社

作家の小川糸さんや刺しゅう作家の神津はづきさんなど、8 人の日々の暮らしの中で見つけた身近な「おしゃれの工夫」のヒントを紹介。ほか、色の合わせ方で手持ちの服を新鮮に見せる 2022 年度版配色レッスンや、直線裁ちでつくる石徹白のはかまパンツの作り方なども掲載している。

趣味
実用

『昭和の美人女優』

高木 清・塩澤 幸登 著

原節子、八千草薫、浅岡ルリ子、岩下志麻、吉永小百合……戦後昭和の日本映画全盛期に活躍した女優たち。昭和を復興期・成長期・成熟期・青春期に区分し、当時の娯楽雑誌『平凡』の誌上で好評だったモノクロ写真とプロフィール紹介を添えた、84 人の見目麗しい人物名鑑。